

# 最重要予防活動に

訓村  
辞長

## 使命の再確認を

精銳(230人)無火災を誓い合う

防め  
団式  
消防初  
村出

# 東由利村報

No. 204 行役場  
発行 東由利村 2月1日 発行  
昭和49年 印刷 KK本間印刷所  
数 6,868  
男女 3,357  
世帯 3,511  
村の人口 1,545

## 克雪へ大きな闘志

二月、余の豪雪に挑む



激しい風雪の中での除雪作業(1月上旬)

やめよう

### 道路への投雪

二年続いた暖冬が一変して豪雪の厳しい冬を迎え、雪の捨て場に困るようになってきました。

部の人たちが除雪後の道路へ雪を出している光景が見受けられます。

今年も、町制移行を決めた郷里の発展を祈念し、写真的な力で確保しなければなりません。道路への雪出し

いですが、たまたま心ない一

部の住民が協力し合い責任を負う一方、急ぎよ雪害対策本部を設け対策に乗り出しています。

豪雪の厳しい冬を迎えて来る

年にしません。道路への雪出し

いですが、たまたま心ない一

部の住民が協力し合い責任を負

う一方、急ぎよ雪害対策本部を設け対策に乗り出しています。

一月中に見舞われた六日現在の平均積雪量(村内九観測地点平均)が二層七〇センチになりました。

中でも、長九・八

きに及ぶ道

路の除雪作業は燃料確

り組んでいます。

村舉げて雪害対策に取り組んでいます。

ちは、「村民の生活は自分の双肩にかかる」といいます。

とばかり、寒中での厳しい作業にもかわらず克雪への大いなる意を燃えさせ、出勤と激励をうけました。

責任感に燃え顔を引き締め

る団員を代表して佐藤團長が

「少数精銳の消防体制確立と予防活動最重点に一層徹底を期して行きたい」と決意を

(五)ほか四名▼10年勤続表彰

(一)ほか六名▼乙種同小

津栄一(五)小松正幸(一)長谷山義雄(一)

小野米作(三)工藤俊雄(四)

表彰)▼15年勤続村上種次

年消防クラブ▼消防協会支部

表彰)▼甲種精勤小松惣一

安雄(二)▼25年勤続佐藤

力(团長)鈴木昭三(五)▼

20年勤続石渡力造(四)梅

表彰)▼模範団員高橋

義雄(三)ほか八名。[団長]

元一)ほか十八名。

長表彰

表彰)▼退職団員感謝状佐藤昇(ラブ)

表彰)▼甲種精勤小松惣一

表彰)▼退職団員感謝状佐藤昇(ラブ)

表彰)▼甲種精勤小松惣一

表彰)▼退職団員感謝状佐藤昇(ラブ)

表彰)▼甲種精勤小松惣一



この真剣さが火災から生命、財産を守ります 大琴婦人消防隊員の放水訓練

## 初期消火は任せて

大琴婦人

負けの頬もしい心意気

負けの頬

頬もしい心意気

大琴婦人

消防隊

大琴婦人



談会で  
座会

9月3日から開催された統合座談会の各会場ごとの意見を要約すると次のとおりでした。( )は住民側出席者数

## ▶法内会場 (25人)

①学校統合賛成。②蔵との段階統合もやむを得ない。③道路改良を促進しスクールバスを小倉まで。④統合後の社会育施設に考慮を。

## ▶藏会場 (23人)

①統合に賛成。②法内とは対等に。③現校舎の用途に配慮を。④スクールバス運転手の採用は人物本位に。

## ▶宿会場 (24人)

①一校統合には反対。②統合は遠隔地ほど通学上の負担を多くする(中学校の例から)。③統合の判断資料が不足。④将来人口の増減見通し不明確。⑤統合は教師と家庭の接触を少なくしマイナス面も。⑥廃校舎の措置に不安。⑦地域の過疎イメージを助長する。

## ▶袖山会場 (28人)

①観念上は統合に賛成であるが通学対策に不安。②寄宿舎には無理があるのではないか。③現時点では冬期の通学が不可能なので現在の独立校のままがよいか、冬期だけの分校がよいか判断に迷う。

## ▶住吉会場 (13人)

①統合への意見分かれ。②スクールバスの安全運行対策を万全に。③除雪、生活指導面に不安。

## ▶玉米会場 (13人)

①一校統合競争心に欠ける。②奥地部落からの通学対策に不安。③旧校舎の処置に不安。

## ▶老方会場 (4名)

①統合賛成。②交通事故防止対策を万全に。③校舎施設は変化に対応できる内容に。④われわれは良いが辺地の意向はどうか。

